

人とともに

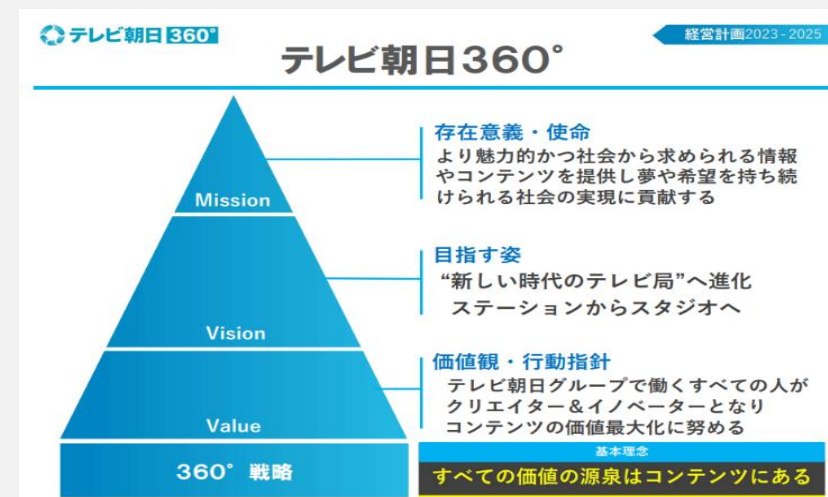
テレビ朝日・人的資本に関する取り組みのご紹介



2023年度

テレビ朝日グループ・人的資本方針

当社グループは、「より魅力的かつ社会から求められる情報やコンテンツを提供し夢や希望を持ち続けられる社会の実現に貢献する」という企業使命を掲げております。また、2023年3月に発表した中期経営計画「新しい時代のテレビ朝日 経営計画2023-2025」では、引き続き“すべての価値の源泉はコンテンツにある”という基本理念のもと、コンテンツをあらゆるメディアに360°に展開し、コンテンツ価値を最大化する「360°戦略」を推進しています。



現在、テレビを取り巻く環境は急激なスピードで変化しています。また、少子高齢化等の影響により、人々のライフスタイルや価値観も多様化してきました。多様化する社会において、視聴者・消費者ニーズを捉え、企業使命である、より魅力的かつ社会から求められる情報やコンテンツを提供するためには、異なる価値観や背景を持った多様性に富んだ人材（ダイバーシティの確保）が必要だと考えています。

そして、「新しい時代のテレビ朝日 経営計画2023-2025」の価値観・行動指針である、すべての従業員がクリエイター&イノベーターとなり、コンテンツの価値最大化を図るためには、個々の能力や個性を最大限発揮できるようにするための育成・人材配置（人材育成）と、すべての社員が心身健康に、働きがいや成長を実感できる職場づくり（エンゲージメントの向上）が重要と考え、これら3つを当社グループの人的資本に関する方針の柱として推進しています。

ダイバーシティ

- テレビ朝日は、企業の重要意思決定機関に占める女性割合の向上を目指すキャンペーン「30% Club Japan」に民間放送局で唯一参加し、女性活躍を推進しています。



項目	2022年度実績	目標
女性採用比率	32.0%	2023年度以降 50.0%
女性社員比率	23.4%	2030年度に 30.0%
女性管理職比率	16.9%	2030年度に 30.0%

※採用比率は新卒採用とキャリア採用を合わせた比率です。

- 価値観の多様性を図るためには、他社就業経験のある人材を増やしていくことも必要であると考え、若手層のグループ会社・外部企業との人事交流を積極的に実施しています。

項目	2022年度実績	目標
一般社員の 他社就業経験者比率	17.0%	2030年度に 25.0%

※目標値は入社3年目以降の一般社員を対象としています。（現職出向を含む、HD兼務を除く）



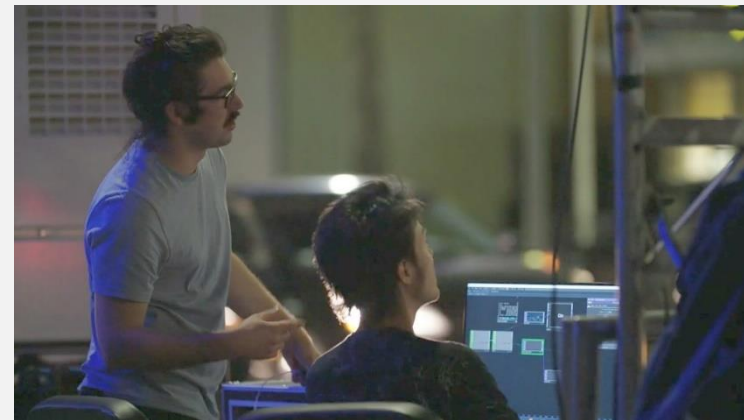
人材育成

【研修制度】

- キャリアの選択肢や可能性を広げる機会を提供するため、各階層にあわせた研修を実施しています。



- 個々の能力を生かし、最大のパフォーマンスを発揮できる組織力を養うため、管理職には毎年研修を実施しています。
- 多様な価値観や知識に触れ、新たなイノベーションを創出する力を養うため、「リスキリング」機会の提供や、社員個人が好きなテーマを自由に学ぶことができる「自由企画研修」、中国の現地大学にて語学や現地事情を学ぶことができる「中国語研修」などを実施しています。



人材育成

【他社留学】

- 一定期間ベンチャー企業に就業し、自社の枠を超えて実践的に学ぶことができる他社留学を実施しています。

【資格取得奨励金制度】

- 本人の業務遂行に役立つ、または、会社全体の業務遂行に貢献を与える資格について、最大30万円の奨励金を支給しています。



エンゲージメント

【休暇制度】

- 年次有給休暇（勤続9年以上で年間27日付与）に加え、各種休暇（誕生日休暇、結婚休暇、子女結婚休暇、子育て休暇、妻出産休暇、生理休暇、妊娠障害休暇、ボランティア休暇、裁判員等特別休暇など）があります。また、労働祭（5月1日）、創立記念日（11月1日）は休日になっています。
- 2年間の有効期間を過ぎた年次有給休暇は100日まで特別年次有給休暇として積み立てられます。特別年次有給休暇は、傷病、看護、介護、出産・育児、不妊治療、ボランティア、配偶者同行の際に、使用できます。
- 子1人につき年5日の「子育て休暇」を付与しております（上限なし）。子育て休暇は時間単位で取得可能となっており、子供の看病だけではなく、子供のイベントへの参加にも利用可能です。
- 2017年より年に約10日、「ラッキーフライデー」という名称で、有給奨励日を設けています。社内の浸透率も高く、以前より有給休暇の取得数が増加しています。

2022年度
平均休暇取得日数
18.7日



【生活サポート・休職制度】

- 「育児」、「介護」、「生活設計」等、社員のライフイベントを支援する「ライフイベント研修」を実施しています。「育児」については、問い合わせ窓口として育児サポートメンバーがおり、育児休職や育児時短等に関する資料がいつでも閲覧できるようにイントラで公開しています。
- 「男性育休」も推進しています。育児休職以外にも「妻出産休」や「特別年次有給休暇」が使用でき、2025年度には取得率100%を目指しています。
- 自己のスキルアップを目的とした「自己啓発休職」、仕事と家庭生活の両立を支援することを目的とした「ライフサポート休職」、配偶者の海外転勤等をサポートするための「配偶者同行休職」、「育児休職」などがあります。
- 企業年金、企業型DC制度、社員持株会制度、一般財形、財形年金、住宅財形など、社員のライフプランに合わせて利用できる制度が多数あります。融資制度もあり、新入社員を対象に最大50万円まで会社から「新人融資」が受けられます。



エンゲージメント

【福利厚生①】

- 社員食堂、診療所、浴室、仮眠室、休憩室を社内に設置しています。社員食堂は25%の食費補助があり、診療所は本人負担なしで受診できます（薬の本人負担もありません）。浴室にはタオルも完備しています。
- 年に2回の健康診断を、会社が費用を負担して実施しています。また、35歳以上の社員には「人間ドック」を、44歳・49歳・54歳・59歳の社員には「スーパー人間ドック」を、同じく会社が費用を負担して実施しています。
- 契約保養所（エクシブ、東急ハーヴェストなど）や、各種優待サービス（ジム、家事代行など）も充実しています。働く独身社員の「安心安全な出会いの場」を創出し、社員のひとりひとりのワークライフバランスの実現を目指して、「AI縁結びサービス」も導入しています。



エンゲージメント

【福利厚生②】

- ジョギング部、テニス部、麻雀部など様々な部活動があり、若手からベテラン社員までが趣味の時間を共有しています。テレビ朝日厚生会から補助金も支給されます。
- 永年勤続表彰制度があり、勤続満10年、20年、30年で表彰と記念品があります。勤続満30年の社員には9労働日の特別休暇と旅行費用補助30万円を授与しています。
- 結婚祝金（2回まで）、出産祝金、弔慰金、子女入学祝金など、慶弔金を支給しています。



テレビ朝日人事データ

● 社員数（各年の3月31日時点）

	2023年	2022年	2021年	2020年	2019年
男性	946名	970名	978名	990名	982名
女性	289名	284名	280名	279名	279名
合計	1,235名	1,254名	1,258名	1,269名	1,261名

● 障がい者雇用比率

2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
2.2%	2.1%	1.8%	1.8%	1.9%

テレビ朝日人事データ

● 新卒採用 3 年離職率

	2022年度入社	2021年度入社	2020年度入社	2019年度入社	2018年度入社
採用数（男性）	9 名	1 6 名	1 8 名	2 2 名	2 4 名
採用数（女性）	6 名	6 名	6 名	6 名	1 3 名
3 年以内退職者 （男性）	0 名	0 名	0 名	1 名	1 名
3 年以内退職者 （女性）	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名
離職率（男性）	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	4.2%
離職率（女性）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%